

船舶事故調査報告書

平成22年9月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成21年8月9日 06時04分ごろ
発生場所	三重県桑名市揖斐川 ^{いび} の伊勢大橋下流、桑名港灯台から真方位345° 3.1海里付近（概位 北緯35° 04.5′ 東経136° 41.7′）
事故調査の経過	平成21年8月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{しゅうぼう} 秀宝丸、3.85トン ME3-41116（漁船登録番号）、個人所有 10.80m(Lr)×2.13m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数35、昭和52年3月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 77歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和52年5月27日 免許証交付日 平成19年5月18日 (平成24年6月29日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	濡れ損（廃船処分）
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、平成21年8月9日05時35分ごろしじみ漁の操業を開始し、揖斐川の伊勢大橋下流において、貝桁網を左舷側に振り出したブームを利用して巻上げ中、左舷側に転覆した。 06時04分ごろ、近くでしじみ漁をしていた僚船船長が、本船の転覆に気づき、落水した乗組員を救助して桑名市消防署に通報した。 船長は、07時ごろ、消防署の潜水士により、転覆した本船下の海中から救命胴衣に船体の属具や錨のシャンク等が絡んだ状態で発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。 船長の死因は、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 2 海象：平穏
その他の事項	船長及び乗組員は、ともに救命胴衣を着用していた。 貝桁網の巻上げ方法は、船首甲板中央部に取り付けたデリックブームを左舷側に振り出し、そのブームの先端に取り付けた滑車に貝桁網の巻上げロープを通してウインチで巻き上げるものであった。 本船の貝桁網内には、川底の砂利や泥が一杯に入っていた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし 不明 不明 本船は、揖斐川の伊勢大橋下流において、左舷側に振り出したデリックブームの先端の滑車に巻上げロープを通して貝桁網を巻上げ中、貝桁網内に川底の砂利や泥が多量に入り、デリックブームの先端に過大な荷重がかかって船体が左舷側に傾斜し、転覆したものと考えられるが、ウインチ操作及び同操作が転覆にどう関与したかについては、明らかにすることができなかった。 船長は、救命胴衣に船体の属具や錨のシャンク等が絡んで浮上できなかったものと考えられる。
原因	本事故は、揖斐川の伊勢大橋下流において、本船が左舷側に振り出したデリックブームで貝桁網を巻上げ中、デリックブームの先端に過大な荷重がかかったため、船体が左舷側に傾斜し、転覆したことにより発生したものと考えられる。	